

南海本線 男里川橋梁の本復旧工事完了について

2017年10月22日、台風21号接近に伴う大雨の影響で、南海本線男里川橋梁において下り線の橋脚が被災しました。当該橋脚については、鉄筋コンクリート製の橋脚を新設する本復旧工事を進めていますが、このたび工事完了の運びとなりましたのでお知らせします。

また、本復旧工事完了に合わせて、既に設置している橋梁の異状を検知する計測器と、新たに設置した特殊信号発光機を連動させて、橋梁に異状があった場合に列車の乗務員に異状を知らせます。今後、安全性や保守性の向上に向けて、既存の計測器を稼働させながら、別の計測器を設置して実証試験を行います。

男里川橋梁の本復旧工事完了について

1. 場所

南海本線 樽井駅～尾崎駅間 男里川橋梁

[所在地] 大阪府泉南市男里と阪南市尾崎町の境目

[橋長] 93.75m

[橋脚] 上下線各6本

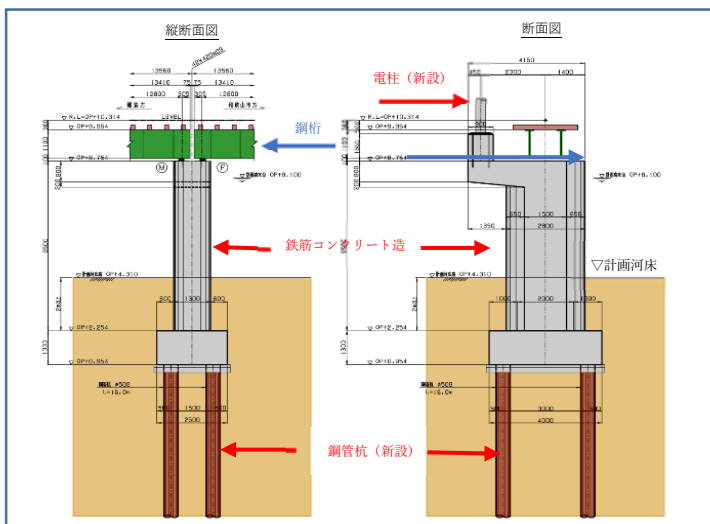
2. 本復旧工事の概要

傾いた橋脚（下り線、尾崎駅側から2本目）を撤去して、杭基礎による鉄筋コンクリート製の橋脚（下図参照）を新設する工事です。新しい橋脚を完成させた後、現在使用中の仮橋脚を撤去して、工事完了の運びとなります。

3. 工事完了予定日

2018年5月10日（木）

※本復旧工事完了に伴い、当該橋梁において仮復旧以降実施していた速度制限（50km/h以下）を同日中に解除する予定です。



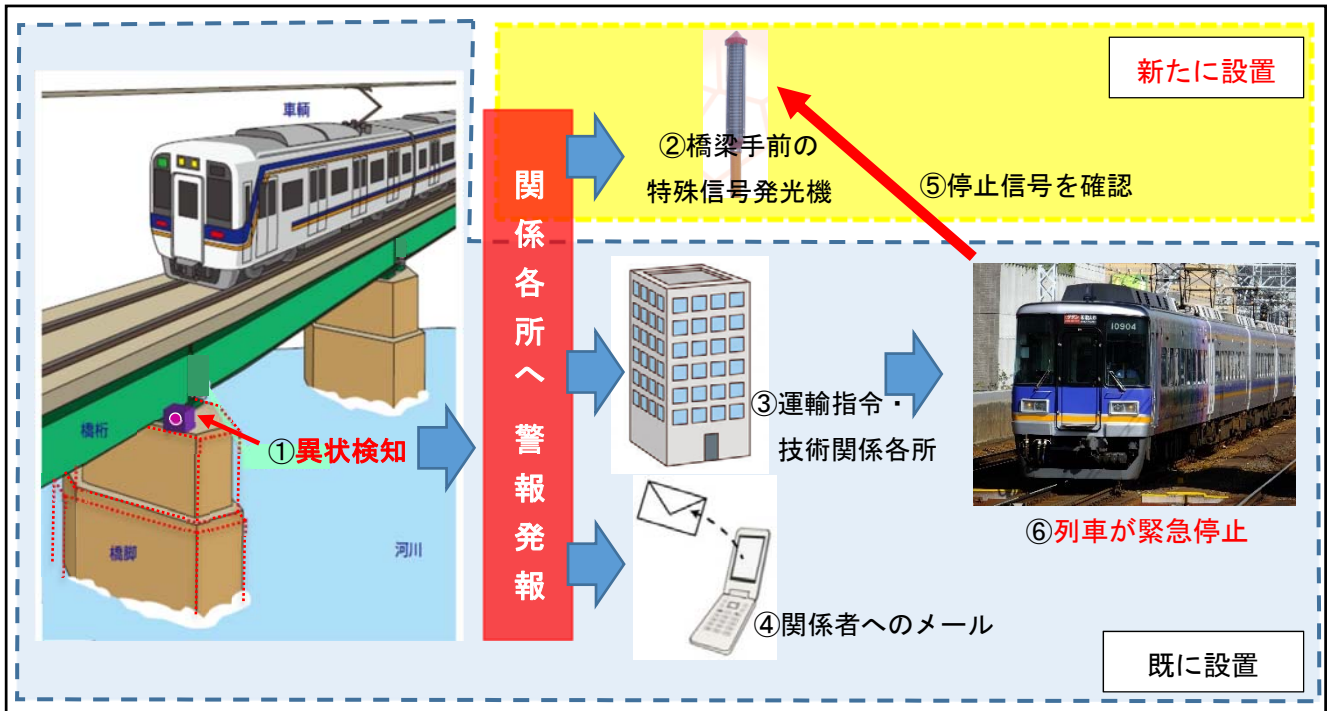
本復旧工事が進む男里川橋梁
(5月8日撮影)

《参 考》

◎橋梁に異状発生した時の流れ

- (1) 既存の計測器で橋脚の異状を検知 <下図①>
- (2) 特殊信号発光機を動作させ、橋梁手前で停止信号を現示 <下図②>
同時に運輸指令など関係各所に警報を発報 <下図③④>
- (3) 列車の運転士は、橋梁手前の特殊信号発光機の停止信号を認めるか <下図⑤>
運輸指令からの通報で緊急停止 <下図⑥>

イメージ図



※計測器は男里川橋梁のすべての橋脚（計12カ所）に設置済み

以上